

米高騰、学生支援 2025 年 6 月 3 日／No.16

■ 学生にもコメ高騰の実感が高まる中、値段据え置きで奮闘 ■ **関西大学の 100 円朝食、利用者急増中** ～ 食費を削りがちな大学生に、健康と学びを支える支援を ～

関西大学では、学生に対する食育環境の充実を目的に、「100 円朝食」および「100 円夕食」を提供する支援を行っています。米の価格が高騰する中、「100 円朝食」の販売数を調査したところ、2025 年 5 月の販売状況が前年度平均と比べ、約 2 割増加していることが分かりました。

本件の ポイント

- ・ コメ高騰の中で、「100 円朝食」を利用する大学生が増加
- ・ コメ不足で仕入れ確保も至難の業。ようやく確保したコメの価格は想定額の約 3 倍
- ・ 大学と学食が協力して、食費を削りがちな学生の食生活をサポート

関西大学では、父母組織（教育後援会）ならびに卒業生組織（校友会）の支援と、大学生協の協力を得て学生に対する食育環境の充実を目的に、2018 年度からは「100 円朝食」、2020 年度からは「100 円夕食」を提供するなど、さまざまな支援を行っています。千里山キャンパスにおける「100 円朝食」の提供数は、年間約 24,000 食、「100 円夕食」は年間約 18,000 食に上ります。2025 年 4 月から 2026 年 1 月まで「100 円朝食」および「100 円夕食」を提供する予定です。

昨今の米価格高騰により、関西大学千里山キャンパスの生協食堂でも、米の仕入れ自体が大変難しく、何とか確保できた半年分の米の価格は想定額の 3 倍近くとなりました。関西大学生生活協同組合の森本秀友専務理事は「学生あつての生協食堂。価格高騰分はライス代に転嫁することなく、赤字覚悟で据え置き価格とする決断をした。学生は、生活費が苦しくなると食費を削る傾向があるが、食事は健康の大本。経済的な理由で食事を抜くことがないよう、できることをやっていきたい。ただ、今期は学生のために頑張るが、この状況が続けば来期は厳しいかもしれない」と話します。

■ 「100 円朝食」の人气が高まる

このような背景のもと、大学が支援を行っている「100 円朝食」の販売数に変化が出てきました。2025 年 4 月の「100 円朝食」利用者数は昨年度と大差ありませんでしたが、5 月に入ってからのコメ高騰の影響が大学生にも出てきたようで、利用率が大きく伸びました。千里山キャンパスにおける 2024 年度 1 日あたりの「100 円朝食」販売数は、平均約 165 食だったのに対し、2025 年 5 月の販売数は約 197 食となり、約 2 割の増加となっています。利用学生からは、「100 円朝食以外では朝食を食べないので助かっている」、「一人暮らしで成るだけ食費を押さえたいので、100 円でバランスの取れた食事がとれるのはありがたい」との声が多数寄せられています。



< 100 円朝食 >



< 100 円夕食 >

身体にも懐にもやさしい食事を学生たちに提供し、学びの環境を整えることも大切な学生支援と考えています。

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課

担当：玉村、伊地知、小林、明原

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp